



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣事業)

2019年9月

募集要項

持続可能な企業経営研修コース
—人と組織を輝かせる 21 世紀型経営—

The Program on Sustainable Corporate Management for the Future

- 21st century management that adds luster to people and organizations -

[SFCM]

2020年1月15日～1月28日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2017 年度（平成 29 年度）までに世界 171 カ国から延べ 194,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 204,000 人余りが参加しています。

「持続可能な企業経営研修コース（SFCM）」は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が「技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）」のスキームで実施する管理研修コースの 1 つです。

競争や拡大成長をベースに、分業による管理により大量生産や物質的豊かさを追い求めた 20 世紀型の資本主義や企業経営は行き詰まり、経済や社会の格差、分断、不安定感が増えています。調和やつながり、持続可能性、心の豊かさと言った価値観が重視される現在の世界においては、事業を通じて継続的に利益を上げ、社会やコミュニティの豊かさと安定に貢献し、しかも働く人々が幸せと満足を感じることができる企業経営は、国を問わず理想的経営といえるでしょう。本コースは、全開発途上国の企業経営者、経営幹部および上級管理者等を対象とし、日本で理想的な 21 世紀型経営を実現している企業に特徴的にみられる経営哲学、ノウハウ、スキル、あり方などに対する理解を深めます。その上で、こうした 21 世紀型経営の特長を参加者自身が自社へ適応する可能性を検討します。「させる・させられる」ではなく「してもらう・してあげる」を交換する経営を模索し、来るべき時代に出現すべき企業を実現するために、経営者としての資質と能力の向上を目指します。

2. 対象国：

下記 URL より対象国・地域一覧をご確認ください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

3. 参加者の人数：

22 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、開発途上国における企業経営者、経営幹部および上級管理者の方で、実務経験 3 年以上を有する方。なお、研修内容を広める立場にある機関・団体のスタッフ・マネージャーも可とする。
- (2) 原則として、年齢は 20 歳以上の方
- (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
- (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
- (5) 心身健康な方
- (6) 開発途上国または地域に居住の方
- (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
- (8) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。

※ 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望して

いる企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。)

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) AOTS の管理研修コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

AOTS のホームページ内の以下の案内をご参照の上、応募書類一式を **2019 年 11 月 12 日（火）** までに、AOTS 研修・派遣業務部（10．お問合せご参照）に到着するよう提出してください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/oda/>

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を **2019 年 11 月 12 日（火）** までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2 枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料
- (5) パスポートコピー
※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。
- (6) 事前研修レポート
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）
※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）
※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）
- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2019 年 12 月 5 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 20 名に満たない場合、本コースを中止または延期します。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

日本で理想的な 21 世紀型経営（人を幸せにし、継続的利益をあげる持続型経営）を実現している企業に特徴的にみられる経営哲学、ノウハウ、スキルなどに対する理解を深め、自社において従業員や組織の活性化、継続的業績向上を実現できる経営人材の育成を図ることを目的とします。

■ 期間

2020年1月15日（水）～1月28日（火）（2 週間）

■ 内容

【ステップ 1】

21 世紀型企業経営における三つの要諦(対の思想*1、パラダイムシフト*2、動的調和*3)とそのバランスについて理解を深め、21 世紀型企業経営に特徴的にみられる経営に対する基本姿勢やあり方について理解します。

*1 対の思想：「個」ではなく「対」を最小単位ととらえる考え方。

*2 パラダイムシフト：結果重視のリザルトパラダイムから、自ら参加してプロセスの一部となるプロセスパラダイムへとシフトしていくこと。

*3 動的調和：予定調和に当て嵌められるのではなく、思わぬ調和が動的に立ち上がっていくこと。

【ステップ 2】

SHIEN(支援)、日本的長寿経営等、日本企業が取り組み、成果を収めてきた「気づき」重視の経営手法の背景にある考え方や実践方法、またそうした経営がどのように従業員や組織の活性化、さらには継続的業績向上に繋がるのかについて企業見学やワークショップ、演習、ディスカッションなどを通じて理解を深めます。

【ステップ 3】

日本には創業 200 年以上の長寿企業が 3,000 社以上ありますが、そのほとんどがファミリービジネスです。日本のファミリービジネスで取り組まれている企業を永続させるための努力と方法について学び、自社の経営にどう生かしていくかを考察します。

【ステップ 4】

本研修で学んだことを参加者が自社の企業経営にどのように活用するか、帰国後のアクションプランをまとめ、最終日に発表します。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕食前にグループ討論が行われます。

日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

館岡 康雄 博士

一般社団法人 SHIEN アカデミー代表理事／元静岡大学大学院教授

東京大学工学部応用化学科卒業後、日産自動車株式会社中央研究所に入社。研究開発、生産技術、購買、品質保証部門を経て、2005年より人事部門で「日産ウェイ」の確立と伝承を推進。2008年に静岡大学大学院工学研究科教授に就任、SHIEN学(*)を提唱。主な著書は『利他性の経済学』『世界を変えるSHIEN学』等。

*SHIEN学：互いに助け合うことで、それまで重なりがなかったところに重なりを創り、「させる／させられる」のではなく「してもらい／してあげる」ことを交換する（SHIENし合う）新しい時代の生き方、あり方で、21世紀以降の利他性を定義するもの。いくつかの病院組織や上場会社はその導入により、寄り添いあって価値を生み出す企業文化になり、赤字が黒字に転換したり、社員の意識が互いを尊重するようになったり、温かな職場風土が実現し、力を引き出し合うようになっている。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 東京研修センター (TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8231(受付) ファックス：03-3888-0763

持続可能な企業経営研修コース [SFCM] 日程

2020年1月15日～1月28日

AOTS 東京研修センター (予定)

月/日	午前	午後
1/14(火)	来日	
15(水)	オリエンテーション/開講式	【講義】SHIEN学(*)概論 ・社員の意識・関係性の変化から組織変革へ
16(木)	【講義】SHIEN学ワークショップ ・SHIEN学の実践	【講義】SHIEN学の背景と組織での展開 ・経営改革・組織改革での実例
17(金)	【講義】日本の長寿企業の経営と組織の特徴～持続可能な企業経営の要諦～ ・日本の長寿ファミリービジネス ・企業を永続させる努力と工夫	
18(土)	休日	
19(日)	休日	
20(月)	【講義】幸福学と企業経営 ・人間の幸福のための因子 ・幸福の因子を満たす企業経営と製品づくり	【講義】成長企業から学んだ「生き生きとした会社づくり」 ・人の成長を促す社風とは ・「働き甲斐、働く喜び」を伝えるために
21(火)	【講義】持続可能な企業経営のために～経営者講話① ・ロマンと算盤(理念の実現と事業の成長の両立) ・多くの企業経営者を育成した経験から	【講義】持続可能な企業経営のために～経営者講話② ・それぞれの天分を生かした働き方とは ・意識を変えることの重要性
22(水)	企業等見学 (遠隔地)	(移動)
23(木)		【見学】長寿企業の経営戦略事例 ・製造業事例
24(金)		【見学】SHIEN学と対話を生かした組織活性化 ・地域行政サービス事例
25(土)	休日	
26(日)	休日	
27(月)	【講義】従業員を幸せにする企業経営 ・『日本でいちばん大切にしたい会社』の共通点	【講義】人の心に焦点をあてたマーケティング ・価値創造と顧客創造
28(火)	最終レポート発表	最終レポート発表 研修評価会/修了式
29(水)	帰国	

*SHIEN学の概要については前頁を参照

注意:

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

7. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

【試算例1】中堅・中小企業の場合

1/14来日・1/15～1/28研修コース参加・1/29帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	105,196 [2/3]	52,598 [1/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	248,000	160,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,360</u>	5,360	
合計	<u>571,154</u>	<u>358,556</u>	<u>212,598</u>

【試算例2】一般企業の場合

1/14来日・1/15～1/28研修コース参加・1/29帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	52,598 [1/3]	105,196 [2/3]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	204,000	204,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,360</u>	5,360	
合計	<u>571,154</u>	<u>261,958</u>	<u>309,196</u>

【試算例3】一般企業（アフリカからの受入）の場合

1/14来日・1/15～1/28研修コース参加・1/29帰国 (日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	<u>157,794</u>	78,897 [1/2]	78,897 [1/2]
2. 研修実施費	<u>408,000</u>	218,000	190,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	<u>5,360</u>	5,360	
合計	<u>571,154</u>	<u>302,257</u>	<u>268,897</u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。

※渡航費は補助対象外となります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10．お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舍費・食費	来日日のみ	8,180 円/泊
	来日日以外	9,020 円/泊
研修旅行時	宿舍費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※上記金額は消費税 10%適用（2019 年 10 月 1 日施行予定）時の金額です。

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

8. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

9. 個人情報の取扱いについて :

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

10. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

研修・派遣業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4階

電話：03-3549-3051

Fax：03-3549-3055

E-mail: g-ukeire-ak@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1丁目 30-1

電話：03-3888-8256

Fax：03-3888-8264

E-mail: shouhei-au@aots.jp

海外事務所

バンコク事務所 (Bangkok Office)

次長 戸田 英信

住所：Nantawan Building 16F, 161 Rajadamri Road, Pathumwan, Bangkok 10330

電話：66-2-255-2370

Fax：66-2-255-2372

E-mail: information@aots.or.th

ジャカルタ事務所 (Jakarta Office)

所長 田中 雅聡

住所：3A Floor, Graha Mandiri, Jl. Imam Bonjol No. 61, Jakarta 10310

電話：62-21-230-1820～1

Fax：62-21-230-1831

E-mail: information@aots.or.id

ニューデリー事務所 (New Delhi Office)

所長 神田 久史

住所：Office Unit 12A, Rectangle One, D-4 Saket District Center,
New Delhi, 110017

電話：91-11-4105-4504

E-mail: info@aots.org.in

ヤンゴン事務所 (Yangon Office)

所長 馬場 宏和

住所：Room Unit 401, Yuzana Hotel 4th Floor, 130 Shwe Gon Taing Road, Bahan Township, Yangon

電話：95-1-8604922

E-mail: info@aots.org.mm

※各国の海外協力団体についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

PRE-TRAINING REPORT

- The Program on Sustainable Corporate Management for Future -
[SFCM]

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English.
Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (preferably attach an organization brochure)	
5. Your position and department (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. Why are you interested in eco business/ eco business innovation? How do you find its significance?</p>	
<p>8. Does your organization currently try to generate innovation to solve any eco/social issues?</p> <p>Provide an outline of this and how it is progressing</p>	
<p>9. What do you think is important for corporate management for <u>a</u> sustainable future?</p> <p>What can you simply and easily do at your company to realize that?</p> <p>What is the most difficult task?</p>	
<p>10. What are your expectations of this training program?</p>	

Question 3:

(For a representative)

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training in your company, how many managers and workers would receive the benefits of this during the year after the training? Please provide your rough estimate below.

About _____ people

Question 4:

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training, what benefits do you expect? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- A reduced load to the environment and energy saving will be realized.
- Technology development and product design and development will be possible in the home country.
- Production capacity will expand. [About _____] %
- Productivity will increase. [About _____] %
- Product and service quality will improve. [About _____] %
- Costs will be reduced. [About _____] %
- Market will be extended.
- Others [_____]

Question 5:

Please provide the sales amounts of your company.

Actual sales for the last fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Estimated sales for this fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Question 6:

The AOTS training program costs about 6,000 USD per person to run the course. Do you think the AOTS training programs produce enough benefits to justify the expense (6,000 USD)? Tick the following statement that applies to you.

- Yes
- No

Question 7:

The following question is relevant to the above Question 6. Supposing that the expense (6,000 USD) is defined as “1”, describe the benefits obtained from the AOTS training program in numerical value. Roughly assess the benefits for the next five years after the training. Tick the following statement that applies to you. A very rough estimate is fine. Your response is highly appreciated.

- Below 1.0 => Provide a specific value [_____]
- 1.0 or above and below 1.5
- 1.5 or above and below 2.0
- 2.0 or above and below 2.5
- 2.5 or above and below 3.0
- 3.0 or above => Provide a specific value [_____]

End of document